



創立 2011年6月17日
SAITAMA UKISHIRO
JAPAN

埼玉浮き城プロバスクラブ

2022.5.20 発行
No. 131



例会日 毎月第3金曜日 ホテル ガーデンパレス 熊谷市佐谷田 3248 TEL048-525-7777
事務局 〒360-0823 埼玉県熊谷市榎町 106 (幹事 岡安眞也方) TEL・FAX 048-521-3359
会長 根岸 友憲 副会長 木島 隆夫 幹事 岡安 眞也 情報委員長 椎橋 俊夫

本日のプログラム

第132回 通常例会

国歌斉唱・プロバスソング斉唱(プロバス賛歌)

会長挨拶 会長 根岸 友憲

幹事報告 副会長 木島 隆夫

委員会報告・同好会報告

入会式 小林様・牧野様・鈴木様・若生様 会長 根岸 友憲

さわやかコンサート役割分担について 事業委員長 畠山 恒雄

卓話「幕末明治熊谷近辺出身で活躍した人々」

山下 裕樹様

ハッピーボックス披露 例会委員 柿沼 孝枝

閉会 例会副委員長 田口覇洲男

<第131回例会出席率 会員 32・出席 30・出席率 81.25%>

第131回(4月15日) 通常例会

■幹事報告

副会長 木島 隆夫

理事会において牧野憲史様、小林晴夫様、鈴木克

枝様、若生ヨシ子様の入会が満場一致で承認されましたことを報告申し上げます。

会員のご賛同をいただき、来月入会式を行う予定です。よろしくお願いいたします。

お祝い
4月誕生日を迎え
られた会員

鈴木 秀憲会員は
欠席しました



山田 義明会員

会長スピーチ

会長 根岸 友憲



新型コロナウイルスが日本で蔓延して、今年で3回目のゴールデンウィークを向かえる季節になりました。相変わらずウイルスの状況はあまりに変わりませんが、日常生活は以前の状態に戻りつつあります。海外や国内旅行もある程度盛況感が見受けられます。ハワイ旅行では多少の規制はあるようですが、自由に出かけられるようです。国内経済活動もある程度回復が見られて人流もようやくゴールデンウィークを向かえコロナ前に戻りつつあります。埼玉浮き城プロバスクラブの活動も例会を含め正常を取り戻ることが出来安堵しております。

とは言え、コロナ以外にも社会不安があります。ロシアによるウクライナ侵攻の蛮行です。西側諸国がロシアへの経済制裁を強化している為、世界経済は不況の入り口来ていると新聞テレビ等が報道しています。日本でも近頃物価上昇が顕著になっています。スーパーの食品も値上がりしない商品は珍しくありません。賃金も一部大企業を除けば、ほとんど上昇せず物価上昇がとまらず年金生活者にとっても予断を許さない事象が山積の現状です。

【桃李不言下自成溪】(とうりものいわざれども、したおのずからけいをなす) という言葉があります。桃や李(すもも)はもの言わぬ木です。しかしその木の下には美しい花や実を求めて人が集まります。人に徳がなければそれを見捨て人はすぐに離れて行きます。浮き城プロバスクラブはまさしく「人徳を多く持った方々の集まり」です。この心ざしを活かして地域社会に貢献して行きましょう。

今月5月29日(日)は地域社会の貢献の一つとして『さわやかコンサート』を開催いたします。会員の皆様の協力お願い申し上げます。



ハッピーボックス発表

◎プロバス例会も順調に開催出来ています。今日の卓話は鈴木民儀会員です。非常に楽しみにしています。(根岸会長) ◎第72回 モダンアート展が東京都美術館で開催中です。有難うございました。(木島副会長) ◎ロシアどうにかなりません。愚かな人間の仕草が戦争に発展する実勉強を21世紀するとは思いませんでした。亡くなられた方々無念でしょうね。(小島・鈴木民・加藤・武笠) ◎鈴木民儀様本日の卓話楽しみにしています。(鴨田・山本・畠山・田口) ◎この度は4人の方の入会申込みをいただき有難うございました。又赤松ものつくり大学学長、後任の国分学長に出席いただき有難うございました。どうぞプロバスライフをお楽しみください。(渡邊・須郷・岩崎・柿沼) ◎本例会をもって当クラブを退会致します。大変皆様にお世話になり有難うございました。今後国分学長が入会いたしますので宜しくお願いいたします。(赤松) ◎GHQが禁書とした「皇室と日本精神」を読みました。まと

もな歴史認識が胸を打ちます。(木村) ◎春雨は雨でもいいもの。心がしっとりと落ちつく。プロバスの例会も出席出来ると一安心。老人の生き方には特別なものはない。ただ健康であればそれで幸せ。(高橋) ◎5月29日さわやかコンサートの盛会を祈念いたします。(清水) ◎誕生日祝い有難うございました。(山田) ◎あいにくの雨模様の例会です。いまだ先の見えない日々ですが例会開催でハッピーです。(大澤) ◎行田市は昨14日で一気にコロナ感染者が52人に増加。いましばらくは自粛と防止に努めます。(保泉) ◎山梨神代桜の撮影に行きました。見事な花を咲かせ樹齢千年の風格は見事でした。(椎橋) ◎久しぶりの例会お世話になります。(石塚)。庭のレモンに沢山の花芽が付きました。バラのつぼみも大きくなっています。待ちどろしい春がやっとやってきました。(森田) ◎お久しぶりです。忘れられないよう出席致します。これからも宜しくお願い致します。(宮根) 文責 柿沼孝枝



第131回 例会卓話

私の在り方生き方について

(私の歩んだ76年間の在り方生き方)

鈴木民儀

はじめに

2月24日ロシアはウクライナに侵攻しました。50日余りが経過しました。ロシア軍の攻撃状況がリアルタイムで報道されています。私の様な戦争を知らない戦後生まれの者にとって恐怖と卑劣さを強く感じます。水と安全はただで得られると思っている世代、平和のあり方について真剣に考えなければなりません。

さて、平成21年改正の高等学校学習指導要領の改訂で生徒自身の価値観・世界観・人生観を確立し、自分はどうかあるべきか、ありたいかという本質を考える学習が位置づけられました。私も文科省研修で指導を受けた事が懐かしく思い出されます。

それでは、私の76年間の在り方生き方について回顧してみたいと思います。

1 私の幼少期から少年期の生き方について

(1) 父の仕事と我が家庭

終戦後の日本は復興経済の中で「傾斜生産方式」により当時の基幹産業である石炭に資材・資金を重点的に投入され産炭地には全国から炭鉱労働者が集まってきました。公職追放されていた父は知人の紹介で北海道炭鉱汽船株式会社に就職し夕張炭鉱の労務管理の仕事に就職しました。以来、私は地元の高校を卒業するまで夕張で生活しました。貧富の差、子ども間のいじめ、治安の悪さ等、良い思い出は余りありません。

剣道8段範士の父は、兄弟4人剣道を通して生き方の基本を教育されました。それは「凡事徹底」の教育でした。あたりまえのことがあたりまえに

出来る人間になれと言う事です。今なお身体に染み込んでいるようです。

(2) 剣道から空手道へ

父は兄弟4人に剣道を通して人間作りをしました。毎日、竹刀の素振りを千回を課し涙をながしながら稽古したものでした。また、礼儀作法も厳しく指導されました。

しかし、やらされる剣道はどうしても好きになれず小学校6年生で父に止める事を告げました。父は剣道を止めてよいが他の武道をやることを条件に許してくれました。父には残念な思いをさせてしまいました。その後、兄と私は空手道に2人の弟は柔道に進みました。

2 私の青年期について

(1) 空手道に熱中

中学校に入学をすると教育大学の空手道部主将であった鈴木宏先生が着任してきました。この出会いが私のその後の人生に大きな影響を受ける事になりました。徒手空拳の空手道精神はこれからの生き方の正に土台を作ってくれました。厳しい稽古でありましたが誰にも負けない忍耐力と空手道人としての寛容の心を得ることが出来たと思っています。

(2) 父からの生き方についての教え

17年間の学校教育を終わるに当たり、父からこれからの人生の在り方について指導を受けました。

子どもへの教育は親の責務である。17年間色々の事があったが、これからは自分の意思で確り大地に根をはり親に心配を掛ける事無く生きて行きたい。それが一番の親孝行であるとの事でありました。また、人との出会いを大切にしていけば人生に過ちを犯す事無く生きて行くことが出来るとの事でありました。

(3) 憧れの東京生活

北海道での生活から東京での生活に強い憧れを持っていた。お陰様で東京中央卸売市場監察官に

合格し憧れの東京生活がはじまりました。最初は見ると聞くもの・感ずるもの全てが新鮮で楽しくてたまりませんでした。しかし、私の様な田舎者には生き馬の目を抜く東京はどうしても生活する事が出来ませんでした。11ヵ月と19日勤めた仕事を退職し東京都教育庁の義理の兄に帰道の挨拶に伺った時、兄から北海道に帰り何するかと言われましたが1年位はこれからの人生について考えて見たいと思うと伝えました。すると、兄が民儀は教員免許状をもっていたな。いま埼玉県が小中学校の教員が不足して困っている。教員でもやってみないかと言われその年4月から与野市立西中学校の教員に採用され着任しました。

(4) 家内との出会い

教員生活は思いの外私の思いには合った職場でした。生徒との触れ合いの中で教育の素晴らしさを実感する事ができ毎日が充実した生活を過ごしていました。同僚の先生方もお互いの人格を尊重しあう雰囲気を大事に生徒中心の日々を送っていた

と思います。そんな中で職員室の私の席の前に座っていた家内に出会ったわけです。人生とは解らないものです。いつの間にか結婚することになり翌年、私は高校教員に採用され県立川越農業高校へ着任しました。縁もゆかりも無かった埼玉に根を下ろし52年間も生活することになったのです。

終わりに

時間の都合上予定した半分しか話をする事が出来ませんでした。誠に申し訳ございません。

終わりに私の生き方に最も影響を与えてくれた中学時代の担任であり空手道の基礎を仕込んでいただいた恩師の贈る言葉「希望に起き努力に生き感謝に眠る」を（人は希望に起き、その希望の実現のために努力しなさい。そしてその希望が実現できた事に感謝し末世の世界に旅立ちなさいとの教え）胸に残された人生を送られれば幸甚です。

会 員 投 稿



脱・平和ボケ

清水 孝 男

日本が呑気でいられる時間はほとんど残されていない。国軍がないゆえのビクビク外交

杏林大学名誉教授 田久保 忠衛

一時はひどかった防衛省内局の自衛隊コントロールは充分是正されたといわれるが、政軍関係を「外国並み」に持っていかなければ周辺諸国になめられる惨めな状況はいつまでも続く。

時代遅れの経済第一主義

いまさらぐずぐず言っても詮ない話だが、経済重視、軍事忌避の国民性も今回のビクビク外交を生んだ「一大要因と思われる。」

高度成長時代で、米ソの冷戦の最中に米国の傘にどっぷり漬かって一國平和主義を唱え、自国の防衛よりも、防衛を担当する自衛隊に、行き過ぎないかと内局が目光らせていた時代だ。外的にどう対応するかよりも日本の「敵」は自衛隊であるかのような時代だった。さすがにいまはほとんどなくなったようだが、防衛省の次官、官房長は旧内務省からの出向などで占められていた。二三年で自分の役所に戻る人間が防衛に死に物ぐるいで取り組むはずがない。

国あるいは国民の気持ちはどういうものであったか、永井教授が説明している。「1951年、アメリカのMSA（相互援助協定）の支援のもとで、日本が自前の軍需産業と武器輸出の方向に乗り出していたら、こんにちの日本経済の奇跡はなかったにちがいない。

この甘い誘惑を水ぎわでせきとめた功績は、吉田＝池田＝宮沢の保守本流の経済合理主義であり、そしてなによりも反軍・平和主義の国民感情であった。これらすべては、敗戦という血と涙であがなった国民の自己体験と英治に深く根をおろしたものであったといっている。

高度成長時代に豊かになった日本人は政界、財界、官界、与野党、一般国民全部が「経済の奇跡」に浮かれ、軍事を論じる者を白い目で見ていたのである。もちろん、日本の軍事面での復興を極度に嫌っていた超リベラル勢力も無視できなかったろう。防衛問題の根本に切り込むチャンスを逃してしまった。

自分の国を自分で守らない国には用は無い

米国のバイデン大統領は、こう名言している。軍事は政治の延長で国家にとって、軍事と外交は車の両輪だ。自分で自らの運命を決定できない情けない国は転落していく。憲法改正に本格的に取り組め。時代を見据えた政治家の登場を心から待望する。

正論（4月号）より

ウクライナは明日の日本！ 自衛隊元最高幹部が緊急分析！

岩田清文元陸上幕僚長

今回の戦争で明らかなことは、戦略核兵器使用の恐怖に繋がるから小型の戦術核使用は思い留まるという現実です。アメリカとロシアは、新戦略兵器削減条約（新START）において、両国が配備する戦略核弾核弾頭や大陸間弾道ミサイルなどの運搬手段の上限を決めており、一定の戦略的なバランスが取れている。一方で、戦略核弾頭に関しては、条約もまぐ、また弾頭数では米国はロシアに劣る。ましてや、相手がウクライナというアメリカにとって同盟国でもない国のことで、ロシアが仮に戦術核を使うと

いっても、核戦争まで行くことは絶対に避けたい。

現にバイデンは「米国とロシアが撃ち合い始めれば、世界大戦になる」と宣言しているわけで、そこをプーチンに付けこまれている。核抑止の枠組みが、ウクライナを巡っては崩れてしまっているのです。そして太平洋正面に目を転じれば、昨年、アメリカの国防総省が「中国が2030年までに少なくとも一千発の核弾頭の保有を目指している可能性がある」などとする報告書を公表しています。あと千年以内に、いまのロシアとアメリカと同じように、中国も戦略核では対等となってしまふ。



未来のためのみんなの取組！

岩 崎 安 裕

SDGs（エスディージーズ）を知ろう！

最近、新聞やテレビなど、さまざまなところで見聞きする「SDGs」。皆さんご存じですか。「サステイナブルディベロップメントゴールズ」（持続可能な開発目標）の略称で2015年に国連サミットにおいて採択された、世界共通の目標です。私たちがこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標でSDGsには現在世界が直面している。貧困や紛争、気候変動、資源の枯渇といった数多くの課題解決につながる“17のゴール（目標）”が定められています。SDGs17のゴール

- 1、貧困をなくそう
- 2、飢餓をゼロに
- 3、すべての人に健康と福祉を
- 4、質の高い教育をみんなに
- 5、ジェンダー平等を実現しよう
- 6、安全な水とトイレを世界に
- 7、エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8、働きがいも経済成長も
- 9、産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10、人や国の不平等をなくそう
- 11、住み続けられるまちづくりを
- 12、つくる責任つかう責任
- 13、気候変動に具体的な対策を
- 14、海の豊かさを守ろう

すると、地域紛争で仮に中国が核をとかいても、アメリカはとめられない可能性がある。それこそ台湾、日本に対して習近平が核の使用をちらつかせた時、アメリカはとめられるのか、まさに、ロシアとウクライナの状態になってくるわけです。

太平洋正面でも、2030年頃にはそういった状況が現実になる。ウクライナでいま起こっていることは台湾でも起こる可能性がある。そのことを年頭において備えなければなりません。

15、陸の豊かさを守ろう

16、平和と公正をすべての人に

17、パートナーシップ目標を達成しよう

このゴール達成により、経済、社会、環境の3側面が調和した“誰一人取り残さない”持続可能でより社会の実現を目指しましょう。

私たちに関係あるの？日々の生活で実践できることも、以下取組例の一例です。

- ①フードバンクに食品を寄付する→生活に困っている方々へ支援や食品ロスの削減に！
- ②徒歩や自転車で通勤する→二酸化炭素排出量削減が地球温暖化削減対策につながるほか、体を動かす通勤方法で健康に！
- ③地域の活動に参加する
住んでいる街に関する理解や地域交流の促進！
- ④地元で買い物をする
雇用確保や経営の継続などの、地域経済の活性化に！
- ⑤SDGsに取組企業を知る
企業の取組を知り、応援することで企業の活力が向上し、持続可能な産業の発展！
- ⑥マイバックを利用する
レジ袋削減で、使用済みプラスチックのごみ減少に！

難しく聞こえるかもしれませんが、すべての人それぞれの立場での目標達成に向けた行動が求められています。一人ひとりが生活していくうえで心掛けていくことが大切だと思います。

浮き城俳句会 5月句会 兼題－水仙、当季雑詠

水仙で 彩 添えて光る池 石塚勇助
競うより寄り添い咲けよ野水仙 清水 周
野に出でて知る春風の心地良さ 須郷岐川
春浅き河原に土筆立ち上がる 渡邊 雅

卒業や人生の辻に立つと知る 田口半茶
凍てつけし土より香る水仙花 大澤扇由女
庭隅に元気に咲くや犬ふぐり 安部節子
鶯の初音藩主の墓の木障 高橋菁村
新たなる花の名のりて春を待つ 木島 泉